

2023 年度 事業報告

社会福祉法人 厚別共栄福祉会

法 人

1. 会 議

会議名	開催日	適 用
定例 評議員会	6 月 17 日 出席者 8 名	2022 年度施設第三次補正予算案、2022 年度本部・施設事業報告及び本部・施設各収支決算報告の審議、役員改選について、内部監査報告について、その他
第1回 理事会	5 月 24 日 出席者 8 名	2022 年度施設第三次補正予算案、2022 年度本部・施設事業報告及び本部・施設各収支決算報告の審議、評議員会の議案について、役員改選後の理事長推薦について、内部監査報告について、その他
第2回 理事会	11 月 29 日 出席者 8 名	施設第一次補正予算について、給与規定の変更について、12月ボーナスについて、運営規程・重要事項説明の改定について、第3回内部監査の報告、札幌市の指導監査について、来年度の職員の異動・採用募集について、駐車場塀の修理について、その他
第3回 理事会	3 月 27 日 出席者 8 名	2023 年度第 2 次補正予算案について、人件費の取り崩しについて、2024 年度 本部・施設の事業計画及び収支予算案の審議について、給与規定の改定について、2024 年度職員給与の決定について、能登地震被災地への義援金について、内部監査報告について、札幌市監査報告について、職員の異動について、誤食事故について、その他
第1回 内部監査	5 月 20 日 2 名	令和 4 年度第3次補正予算の確認、借入金返済状況の確認、手元保有の現金確認及び保管状況を確認、3月末日における通帳及び残高証明を確認、その他、令和4年度の資金収支(決算)を確認。
第2回 内部監査	8 月 5 日 1 名	資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表を確認、職員の超過勤務の状況を確認、職員の年休取得状況及び年休の処理状況を確認。来年度の職員採用についての説明、園庭フェンス復旧工事に係る保険認定額等についての説明。
第3回 内部監査	10 月 28 日 2 名	7月～9月の資金収支状況を確認、非常災害時における訓練の確認、職員の園内研修の確認 その他、予算の補正について確認。R5年11月に実施される札幌市の指導監査についての説明
第4回 内部監査	1 月 27 日 1 名	10 月 1 日から 12 月 31 日までの資金収支計算書及び貸借対照表等の確認、国における保育士人件費助成による 5.2%アップに伴う給与改定の考え方の徴取
評議員選任・解任委員会		2023 年度は開催無し

施 設

1. 職 員

- (ア) 園長:1名、主任保育士:1名、副主任保育士:1名、保育士:12名、保育士パート6名、栄養士:1名、用務員パート:2名、調理パート4名、事務パート1名
- (イ) 健康診断(特殊健康診断含む)の実施

2. 児童の処遇関係

- (ア) 健康診断・・・内科検診－幼児 年2回実施
乳児 毎月1回実施
歯科検診一年1回実施
- (イ) 栄養管理・・・札幌市の札幌市保育所給食基準献立に基づき実施。毎月の献立表と共に食育メッセージを載せ、保護者にも興味関心を持ってもらえるよう作成した。給食試食会は栄養士を中心に計画し給食献立の試食・献立の展示・レシピの配布や質問事項への対応を実施した。保育園での菜園収穫物の調理・試食なども実施でき、収穫祭では、どんぐり組・うさぎ組・はと組・ひばり組は園庭にて調理し、はと組・ひばり組は園庭で食事を取ることができた。
- (ウ) 保育の振り返り・・・元気に遊べる子・きまりを守れる子・思いやりのある子、3本の柱をもって、保育課程・全体の計画に基づき子供たちがのびのびと生活できる「環境」を整え体力・知能の増進を図り、自然と親しみながら情緒豊かで雑草のように心身ともに強靱な子供の保育に努めたつもりではあったが、子どもたちへの足りない対応配慮などがあったため苦情として取り上げられることになったことは反省すべき点である。
年間を通し、年長・年中・年少のクラスで体操教室・ラジオ体操に取り組むなどして運動機能の発達や体力増進に努めた。
後期には、週1回程度縦割り保育を通して異年齢での関わりや思いやりを育む保育を実施し2024年度も引き続き継続していく。
年長児は、月に1回から2回の詩吟に取り組み、発声などに違いがみられたように思える。
2024年度の年間行事を主に園評価として3月中に保護者へのアンケートを実施した。
(集計・公表済み)
- (エ) 延長保育・・・通常どおり実施
- (オ) 一時保育・・・職員配置が整わず、2023年度は休止の措置を取っている。
- (カ) 行事・・・運動会は、観客の人数制限を緩めるなどして、2部制の総入れ替え制の方法を取り、昨年通りの内容で実施できた。共栄まつりは、あいにくの天候の為園内での開催として2部制で園関係者のみの参加として実施した。
お泊り会は、園内で水遊びやゲーム、園児と一緒に調理し職員も交えて夕ご飯とるなど、通常通りのお泊り会を実施した。その他の行事も中止することなく実施した。

3. 研修会

札幌私保連の研修を主にオンライン研修も含め札幌市・教育委員会・日本保育協会札幌支部など22回の研修に参加した。また園内研修の充実を図り、会議や打ち合わせの中での

園児理解・保育の方法等の理解と確認のみではなくテーマに沿って年 5 回(運動あそびのルール確認の他 4 回)実施した。

昨年同様、私保連や北海道保育協議会等が主催のキャリアアップ研修に 9 名参加し 9 名が終了証を得ることができた。

4. 園児関係

4月1日は117名と定員以下でのスタートだったが途中入所を受け入れようと思っても職員体制が整わず途中入所を見送ることも多く、一時的には119名となったが年度末には118名で年間を通し定員を下回ったままとなった。年間延べ 25467 名の保育を実施し、23 名の卒園生を送った。 累計 1188 名

5. 駐車場の塀修繕報告

2023年5月16日に駐車場塀物損事故があったが、すべて加害者側の保険で元通りに直してもらった。修繕工事期間は9月8日から9月23日まで。

6. ホームページ

主任が主となり、ブログを利用し保育中の様子や職員募集の情報などのお知らせも公表中。今年度は、このホームページから保育士の採用につながるなどホームページの効果を感じた。

7. 保護者との連携に関して

(1) 組別懇談会・個人懇談会を実施し、家庭と保育園との情報交換の場とした園だより・クラスだよりを毎月発行して、日々の保育に必要な情報や園と家庭の連携を図りつつ、保育を行った。

(2) 昨年までは各種行事がコロナの影響を考え縮小や園児のみの参加になっていたが、今年度は感染状況を踏まえながら徐々に参加人数の拡大や内容を整理しながら実施した。

(3) 年度末には、より良い保育・保育環境ができるように例年実施している保護者へのアンケート調査に協力していただき回答を作成し、公開する予定。(公開準備中)

8. その他

年度途中に(8月末)正規保育士の退職があり、募集をかけるが応募の無い状況であったが、ホームページの効果で2024年に応募があり、2024年2月1日～正規保育士1名の採用となった。それ以前に一時保育やゆとりのある配置を目指し常勤保育士数を増やすため、紹介会社から新卒者1名の採用、その後養成校から新卒者1名の採用となった。ただし、2023年度末に正規保育士2名の退職の申し出があり、結果的に2023年度当初の常勤配置となる。

以上